

ダブルラーニング機能搭載超音波ガスメーターとIoT通信端末を活用した ダブルラーニング機能の効果検証とLPガス保安高度化実証事業

（関係法令：液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律）

【株式会社トーエル】

- 秋～冬に発生するガスメーターの不要遮断を大幅に削減し、電話対応や現場出勤にかかる労力とコストを低減する。
- 「ダブルラーニング機能」搭載の超音波ガスメーターとIoT通信端末を導入し、その効果を実証する。
- 不要遮断の削減により、保安レベルを維持したまま、保安対応要員を効率的に配置するスマート保安体制の確立を目指す。

現状

- ガス使用量が少量消費の夏は遮断値が低いため、秋～冬の消費急増時に不要遮断が多発している。

課題やニーズ

- 不要遮断に伴う電話対応(年間通報数の約72%)と現場出勤(年間出勤数の約72%)の労力・コストの削減。

期待される効果

- 季節による使用パターンを適切に判断し、不要遮断を回避。電話対応と現場出勤にかかる作業時間(電話対応10分/件、現場出勤60分/件)とかかるコストを削減。

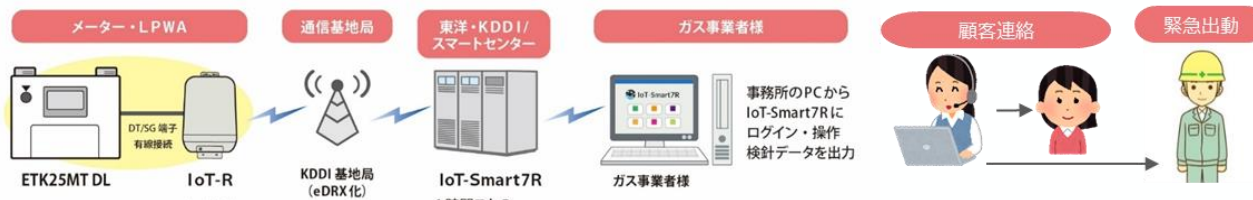
導入前 (現状)



夏の少量消費で遮断値引き下げ(減少再学習) → 秋・冬の消費急増で不要遮断発生 → 電話連絡・現場出勤が多発し、労力とコストが増大。

ダブルラーニング機能

導入後 (実証技術)



ダブルラーニング機能により秋口に前年学習した最大遮断値を仮設定 → 不要遮断を削減 → 電話対応・現場出勤の削減、保安レベルを維持したまま保安対応要員を効率的に配置